

取扱説明書

Xtract-R™
冷媒回収機

重要なお知らせ

- ❖ まずこの説明書を全てお読みください！
- ❖ 異物がポンプに入らないよう、常に吸入フィルターを使ってください。
- ❖ 各プロセス終了後、パージしてください。
- ❖ パージ後は必ずV2を「回収」位置に戻してください。
- ❖ コンプレッサーにオーバーフローしないよう、「回収」あるいは「パージ」の間はV1をゆっくりと開いてください。

目次

1.0	安全対策	3
2.0	仕様、特長、製品保証	6
2.1	Xtract-Rの仕様	6
2.2	特長	7
2.3	製品保証	8
3.0	手順と操作	
3.1	スタート	9
3.2	通常の回収操作	10
3.3	Xtract-Rのパージ	12
3.4	プッシュ・プル操作	13
3.5	回収ポンプの冷却	14
3.6	保管	16
4.0	認定付属器具	16
5.0	メンテナンス	17
6.0	トラブルシューティング	18
7.0	整備－構造と配線図	20
7.1	整備	20
7.2	構造	21
7.3	電気配線図	21

インフィコン (INFICON®) 製 Xtract-R™ 冷媒回収機をお買い上げいただきありがとうございます。

Xtract-R は、革新的な冷媒ガス圧縮システムと丈夫な鋳造ケースを組み合わせ、移動や通常の取り扱いにあたり損傷を受けないよう最大限の保護を可能にするよう設計されています。この説明書に記されているような通常の使用と整備を行う限り、Xtract-R はトラブルのない操作が何年も可能です。

安全第一！



注 意

国際的に共通なこの印が機械についている時は、操作、安全、メンテナンス（整備）に関する重要な指示がこの説明書にあると使用者に注意を促すものです。この説明書で使われているように、重要な項目に関し注意を呼びかけることが目的です。

Xtract-R は、広範な種類の冷媒を回収する機械です。冷媒を別の貯蔵ポンペに回収するには、ガスの圧縮が必要で、その結果として機械、接続ホース、貯蔵ポンペ内部の高圧化を伴います。高圧システムは不注意による事故を防ぐよう常に注意して大事に扱わねばなりません。

製品の安全

インフィコンの Xtract-R は、冷媒回収機に関し守るべき基準、UL 1963、MITI、ドイツの加圧容器規則、および CE 規則などに合致するよう設計されています。安全基準を完全に満たすために、回収作業は必ず認定された貯蔵ポンペを使って行われねばなりません。認定された計量器を使って、常にポンペの容量を計ります。さらに、ポンペの交換やセットアップの時に、冷媒が大気中に漏れないようにするために、端から 300 mm 以内に開閉バルブのついた冷媒ホースを使用するようお勧めします。

責任者

インフィコンの Xtract-R の操作は、こうした装置の整備や取り扱い、および回収プロセス自体に関し適切な訓練を受けた有資格の技術者によってのみ行われねばなりません。この装置を資格のない人が使用することは危険ですから行わないでください。

Xtract-R™、D-Tek™、Wey-TEK™、TEK-Mate® および Inficon® は Inficon inc. の商標です。

1.0 安全対策



注 意

この装置の操作は、必ず、冷媒システム、冷媒、冷媒の安全、および冷媒の使用に関する法規を知っている有資格の技術者によって行われねばなりません。



注 意

機械を使用する前に、この説明書を読み、機械の特徴と操作方法を理解してください。



警 告

冷媒システムを扱う時は、適切な安全保護の服装（手袋、保護メガネ、保護靴など）をしてください。



警 告

冷媒ガスは危険で、その副産物は致死性があります。換気が十分な場所で作業をしてください。室内での作業の場合は、作業場の通気を十分に確保し、必要なら別個に換気扇を取り付けてください。閉鎖された場所では、その状況に適した特別な安全機器なしには作業をしないでください。



注 意

製造元のデータ表および温度・ガス圧の情報をよく見て、回収された冷媒に関する適切な安全および取り扱い規則についてよく理解してください。



警 告

リーク感知は、推薦されている方法に従ってのみ行ってください。最良の結果を得るには、インフィコンの**D-TEK™** か **TEK-Mate®** のような、冷媒感知器のみをお使いください。このプロセスに酸素は決して使わないでください。油と混じり圧力がかかると爆発性の混合物になるからです。



警 告

決して貯蔵容器に充填し過ぎないでください。インフィコン製 **Wey-TEK™** のような冷媒計量器、あるいは **Xtract-R** の過充填防止回路（別売）に正しく接続された「タンクフル」スイッチを使用して過剰充填を防ぐようお勧めします。ポンペを充填しすぎると、壊れて爆発する可能性があります。



注 意

冷媒は涼しく乾燥した場所に保管してください。



注 意

異なる冷媒は別にして隔離してください。回収された冷媒の種類ごとに別の貯蔵ポンペとフィルターを使用し、混合しないでください。



警 告

サービスパルプやポンペバルプはゆっくり開き、全ての接続部分がしっかりと締まっていて危険がないか確認してください。



警 告

インフィコンXtract-Rを移動あるいは整備する前に、電気を切ってください。この装置を開くのは、基本的な電子機器と冷媒に関し訓練を受けた有資格の技術者によってのみ行われねばなりません。この装置を開けると、感電や高温のコンプレッサー部品に触れる恐れがあります。



注 意

警告 - 火災の危険を減らすために、この装置には延長線コードを使用しないでください。高電流が発生した場合、コードが加熱しうるからです。もしどうしても延長線コードが必要な場合は、できるだけ短いコードで、**16AWG (1.291 mm)** 以上の太さの線のものを使ってください。



警 告

どんな機械も、可燃物のある環境での使用は危険です。これはモーターやスイッチから火花が発生することがあるからです。この装置を使用するのは、1時間に少なくとも4回空気が入れ替わるような機械による換気設備のある場所でなければなりません。こぼれたガソリンその他可燃性の液体のそばや、そうした可燃性の液体が入った容器の蓋が開いているところではこの装置を使用しないでください。



注 意

水分が冷蔵システムの内部部品に触れると深刻な損傷を引き起こす可能性があります。水分が入り込まないように、システムに対するリーク感知、回収、修理、再充填に際しては十分注意してください。システムから完全に水分がなくなるよう、必ず高品質で高性能な真空ポンプを使ってください。圧力を観察するために、電子総合圧力ゲージもお使いください。



注 意

操作する際は注意を払ってください。この装置は汚れや水気のない場所で使用してください。電源コードや装置自体を、濡れたところやその他危険性がある場所には絶対に置かないでください。



警 告

装置を移動する際は、怪我をしないように注意してください。

2.0 仕様、特長、製品保証

2.1 Xtract-Rの仕様

冷媒 40°Cでの気体圧が2500kPa以下の冷媒を使用

電力 AC 100V、50/60 Hz、7A

コンプレッサー オイルレス 1/3HP。吸入バルブなし。直流モーター使用。

冷却 特製ファンモーター

安全対策 高圧停止スイッチが 3400kPa(ラッチ)で作動

..... 低圧停止スイッチが -30kPa(自動)で作動

..... コンプレッサーは別のブレーカーで保護

..... 冷却ファンのモーターは熱から保護

圧力 下限設計圧力 3500kPa

..... 上限設計圧力 5500kPa

温度 作動範囲 10°C ~ 40°C

ケーシング 吹込成形、ショックに強い構造

寸法 590mm(奥行) x 440mm(幅) x 710mm(高さ)

重量 14kg

ARI 740-95 による性能は表 2-1 にある通りです。

表 2-1. 性能

冷媒	液体値 (kg/ 時)	気体値 (kg/ 時)	プッシュ・ プル値 (kg/時)	停止バ キューム (mm Hg)	残留冷媒 (kg)
R-22	60	9	280	250	<0.1
R-134a	52	7	230	250	<0.1
R-410A	44	10	350	250	<0.1

2.2 特長

最高品質の部品を使って設計されISO 9001取得工場で製造されています。

インフィコンXtract-R 冷媒回収機は新しいオイルレスコンプレッサー技術を使っており、液体に対する耐性が強く、吸入バルブがないのでメンテナンスが容易です。また、コンプレッサーは始動時に発生する高い吸入・排出圧に対応します。

シンプルなバルブ設定ですから操作が簡単です。

吸入・排出圧ゲージ目盛で、初めから終わりまでプロセスがチェックできます。

装置は重量が軽く安定が良いので、作業現場や困難な場所への運搬も容易です。ハンドルは持ちやすく、究めてバランスが良く、キャリアストラップを使えば装置の持ち運びのしやすさが増します。

ホースを替えずにパージが実施できます。

高インパクト成形ケースは損傷を受けにくく、操作、取扱、収納の際に起きうる損傷からゲージ目盛、バルブノブ、ホース連結ポートを保護するよう設計されています。

ゲージ目盛に損傷が起きてもすぐに取り替えることができます。

2.3 製品保証

インフィコンはご購入いただいたXtract-R冷媒回収機に材質や製造上の欠陥がないことを、ご購入の日から1年間保証します。インフィコンは、誤った使い方、本人の過失、事故の対象となった機械、あるいはインフィコンの者以外の人が修理した機械については一切保証しません。

コンプレッサーは製造元によって1年の製品保証がなされています。この製品保証を有効に保つためには、微粒子がコンプレッサーに入り込まないように、吸入ポートまたはホースに標準フィルターかフィルタードライヤーが常に使われていることが必要です。フィルターを使用しない場合は、コンプレッサーの製品保証は無効となります。

インフィコンの責任は、製品保証の有効期限後30日までに、ご購入いただいた店に送料前払いで返却された機械で、材料または製造上の欠陥があって故障したとインフィコンが判断する機械のみに限定します。インフィコンの責任は、欠陥のある機械または部品を修理または交換することに限定し、どちらにするかはインフィコンが判断させていただきます。

この製品保証は、商品の販売適性であれ、あるいは特定の目的に合致しているかどうかであれ、他のあらゆる保証（表明されたものもそうでないものも）に代わるものです。そうした他の保証は致しません。

インフィコンには、機械に対しインフィコンに支払われた価格と前払いされた返却送料以上の賠償責任はありません。インフィコンはいかなる付随的または間接的な損害に対しても責任を負いません。そうした責任は全て免除されます。

3.0 手順と操作

3.1 スタート



警告

この装置の操作は、冷凍システム、冷媒とサービス機器、整備機器の使用と操作に関する適切な訓練を受けた人によってのみ行われねばなりません。適切な安全対策を守らないと、人身事故や死亡事故につながる可能性があります。



注意

Xtract-Rを実際に使用する前に、この説明書を全てお読みください。

回収する冷媒の種類を確認し、認定されたフィルターとホースを取り付け Xtract-R が使えるよう準備をしてください。認定されている付属器具に関しては、この案内書のセクション 4.0 をご参照ください。

本管から引いた電源コードを、適切な規模のブレーカーで守られた回路に接続します。延長線コードを使用するのは、作業をするためにどうしても必要な時にのみにしてください。最低限必要な長さのみにし、アースがなされており、使われているワイヤーの太さが 16AWG (1.291mm) 以上でなければなりません。

Xtract-R を置いた位置が安定しており、十分に水平か確認します。これまでに書かれている安全事項が全て守られているか確認します。機械の両側にあるファンの空気取り入れおよび排気エリアに障害物がないか確認してください。

回収作業を開始する前に、全ての接続部分がしっかりと接続されているか確認します。

冷媒を回収する時、かなりの量の液体がある場合は、マニホールド・ゲージ・コントロールバルブまたは Xtract-R の吸入バルブを絞る必要があるかもしれません。コンプレッサーから大きなノッキング音が聞こえた場合は、必ずバルブを絞らなければなりません。Xtract-R のコンプレッサーは液体に対する耐久性がありますが、どのようなコンプレッサーでも液体 100% で 2 ～ 3 分運転すると必ず壊れてしまいます。さらに、液体が強く当たると高圧停止機能が作動してプロセスに時間がかかる可能性があります。したがってバルブをゆっくり開き、プロセスの経過に注意を払う必要があります。コンプレッサーがノッキングを始めたら、ノッキングが止まるまで吸入バルブを時計回りに回してください。マニホールド・ゲージ・バルブを調節しても同様の調節が可能です。この方法を行う場合はコンプレッサーが損傷しないように注意を払ってください。さもないと製品保証が無効になります。



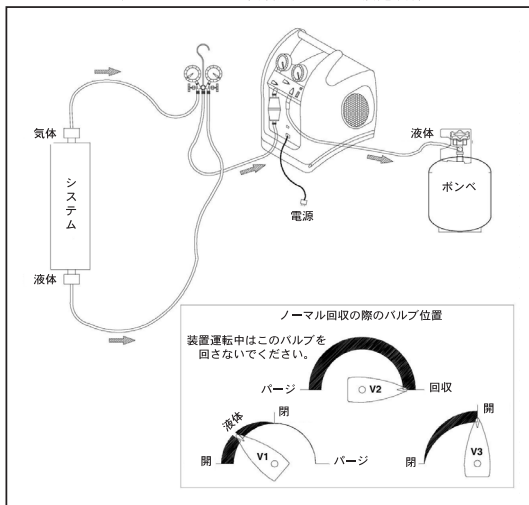
警告

冷媒用計量器、または「タンク・フル」スイッチ、を使い、ポンペがその重量限度の80%以上充填されないようにします。ノーマル回収またはプッシュ・プルモードで操作する時は、ポンペが過剰充填される可能性があります。確かでない場合は、輸送する前にポンペの重さを計ってください。過剰充填したシリンダーは爆発して噴き出す可能性があります。

3.2 通常の回収操作

1. セクション3.1で説明され下記の図にも示されているように、ケーブルを全て接続します。ケーブルがしっかり接続されており、機械操作の妨げにならないようにします。図3-1参照。

図 3-1. ノーマル冷媒回収のための設定手順



2. 機械に通じている電気を切ります。



警告

もし電源スイッチが離れた場所にある場合は、鍵がかかるようにし、誰かが間違えてスイッチを入れ戻したりしないようにしてください。

3. Xtract-R から回収ポンベにつながっているホースが「液体ポート」に接続されているか確認してください。「気体」ポートは閉じたままポンベの「液体ポート」のバルブを開きます。
4. Xtract-R を「回収」にセットします。
 - 4a. 「排出」バルブ (V3) を全開の位置にします。
 - 4b. 「パージ／回収」バルブ (V2) を「回収」の位置にします。
5. マニホールド・ゲージの「液体」バルブをゆっくりと開き、漏れがないか確認します。できるだけ多くの液体を抽出すると回収プロセスのスピードが早まります。
6. Xtract-R のスイッチを「ON」にし、冷却ファンが作動しているか確認します。
7. 吸入圧力 (LP, 低圧ゲージ) を観察し、Xtract-R の「吸入」バルブ (V1) をゆっくりと開きます。もし機械に流入する液体が多すぎる場合は、「吸入」バルブまたはマニホールド・ゲージの液体および気体バルブを絞ります。
8. 液体が移ったら「吸入」バルブ (V1) をいっぱいに開き、残りの「気体」を移します。マニホールド・ゲージのバルブ（液体および気体）もいっぱいに開いているか確認してください。
9. 真空になるまで操作を続けてください。機械を少なくとも 5 分間そのままにし、もしこの間に、マニホールド・ゲージで読み取るシステムの圧力が 30kPa 以上に上がる場合は、まだ冷媒が残存しているということです。全ての冷媒が取り除かれ目盛が 0kPa 以下になるまでこのプロセスを繰り返します。
10. 「回収」操作を終了します。
 - 10a. マニホールド・ゲージの液体および気体バルブを閉めます。
 - 10b. Xtract-R の「吸入」バルブ (V1) を閉めます。
 - 10c. Xtract-R の電源スイッチを切ります。
 - 10d. 下記にあるセクション 3.3 に説明されている手順に従って、すぐに Xtract-R をパージしてください。

3.3 Xtract-R のパージ

1. 「吸入」バルブ(V1)を回して「閉」の位置にし、「電源」スイッチがOFFになっているか確認してください。図 3-2 参照。
2. 「パージ／回収」バルブ(V2)を回して「パージ」の位置にしてください。
3. スイッチを入れ、吸入バルブ(V1)をゆっくり回してパージの位置にし、コンプレッサーに液体が入り込み過ぎないようにします。コンプレッサーが作動し始めます。
4. 真空になるまで機械を作動させます。真空になった時点で電気のスイッチを「OFF」にし、すぐに回収ポンペのバルブを閉めます。「吸入」バルブは「パージ」または「閉」の位置にしたままにかまいません。最後にV3を閉めます。
5. 重要：V2を「回収」の位置にもどします。

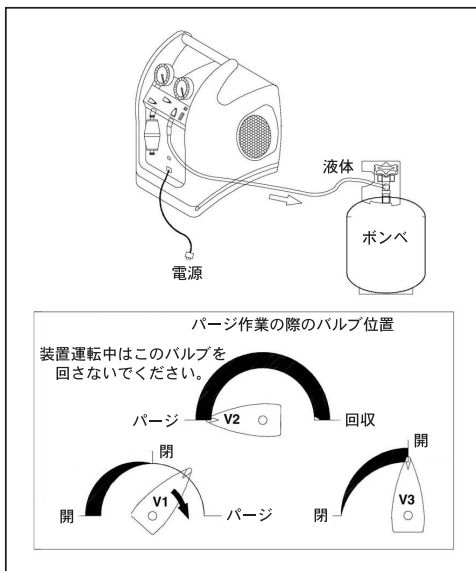


注 意

ホースと排出ポートには圧力のかかった冷媒が少量残っています。このホースを取り外しバルブV3を開く時は注意を払ってください。

6. 全てのホースとケーブルを外し、機械と回収ポンペを搬出する準備をします。
7. 冷媒を換える時やポンペを接続し直す時は、回収プロセスに空気が入るのを防ぐために、必ずホースとXtract-Rのポートを冷媒でパージして（あるいは排気ラインを空にして）ください。

図 3-2. パージ作業の間のバルブの位置



3.4 プッシュ・プル操作

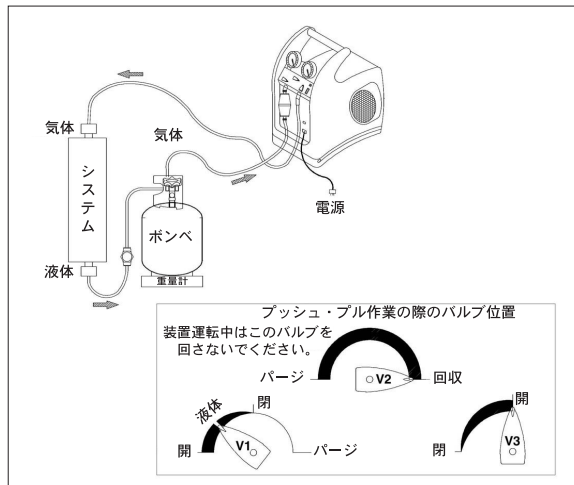
「プッシュ・プル」方式は、コンプレッサーを通さずに大量の液体冷媒をシステムから回収ポンベに移すために使われます。この方式は7kg以上の液体がシステムにあることが分かっていて、かつその分離が容易な場合にのみ有用です。状況に確信がある場合以外は、この「プッシュ・プル」方式を使わないでください。

図 3-3 にあるように、冷媒ホースを接続してください。対象となるシステムから回収ポンベにつながる管に「サイトグラス」を加えると、液体が移されて気体しか残留していないようになった時が分かる重要な補助機具になります。

このプロセスは、空になった回収ポンベにつながるものからは「プル」を使い、Xtract-R からは「プッシュ排出」をして液体冷媒を移します。これにより毎分5kg を超える速さが可能です。

このプロセスでは、ポンベが過剰充填されないように計量器を使用する必要があります。

図 3-3. プッシュ・プルのセットアップ手順



3.5 回収ポンベの冷却

Xtract-R は、ヘッド圧が高過ぎて回収プロセスが達成できない時に、回収ポンベをブレイク（またはサブクール）するために使用できます。これが起きるのは、気体圧が高いタイプの冷媒を使って、環境温度が高い場所で作業する時です。

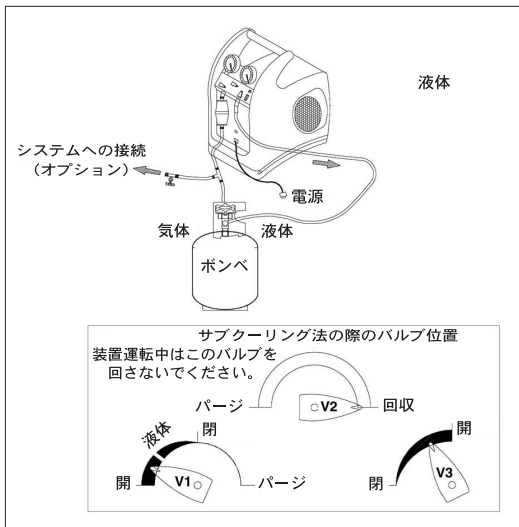
もしヘッド圧が高過ぎて回収プロセスが停止する場合、Xtract-R を停めてホースのバルブを開け、図 3-4 にあるように設定をし直してください。これは、回収プロセスを始める前に行うことも可能ですが、それでは長期的にはあまり効果がないかもしれません。

注意： これは、少なくとも5kgの液体が回収ポンベにあって必要な圧力差を生み出せるときにのみ実行できます。

Xtract-Rのスイッチを「ON」にし、「排出」バルブ(V3)を回してLPゲージとHPゲージの間に少なくとも700kPaの圧力差が生まれるようにします。HPゲージ上でHPを2500kPa以下に保ち、HP停止スイッチが作動しないようにします。

数分運転すると、ポンベが冷たくなります。Xtract-Rのスイッチを「OFF」にし、設定をノーマル回収にし直します。必要に応じて繰り返してください。

図 3-4. サブクーリング法の設定



3.6 保管

回収プロセスが終了したら、電源コードと冷媒ホースを痛めないように巻き、ゴミや異物が接続部分やホースの端に着いていないか確認します。

Xtract-R を立てて台車に乗せ、ホースとコードもその近くに保管します。移動時に物が動いて装置に当たったり、上に重い物が乗せられたりして装置が損傷を受けたりすることがないように充分注意を払ってください。

この装置は温度 0°C ~ 50°C で、湿度 95%RH までの状態でなら安全に保管することができます。条件の悪い状態で保管しなければならない場合、その性能が十分発揮できるようにするには、使用開始前に 10°C ~ 40°C の範囲内に置いて安定させてから使用する必要があるかもしれません。最良の結果を出すには、装置を使用しない時、環境条件が管理されている場所に保管してください。

保管前に、必ず Xtract-R をパージし、気体を抜き出し、V1 と V3 は閉めて、V2 を回収の位置にしておきます。

4.0 認定付属器具

Xtract-R 冷媒回収機がその機能を最大に発揮するためには、正規付属器具類が必要です。以下の品は安全と操作上の必要事項を確実に満たすために特に指定されたものです。販売会社に確かめて適切なものをお選びください。

冷媒ホースは認定された素材で作られ、作業を行ための必要最低限の長さで、先端から 300mm 以内に遮断装置が付いているものでなければなりません。

回収ポンペは、認定されたもので、回収される冷媒に対する圧力値が適切なものでなければなりません。作業に適したサイズ（通常 20 ~ 60kg）をお選びください。

フィルターは、Xtract-R が吸入する液体や気体に、冷却システムに存在する埃の粒子、金属、および他の異物が入らないようにできるものを選んでください。もしシステムに使われているコンプレッサーが焼け切れる場合、フィルターを 2 つもしくはそれ以上必要になる場合があります。使用後フィルターはすぐに廃棄してください。

延長コードが必要な時は、必要最低限の長さにし、16AWG (1.291mm) 以上の導体のものでなければなりません。これは、高電流の際に過熱するのを避け、火災の危険を最小限に抑えるためです。作業現場で必要とされる延長コードの長さが長くなるほど、導体の太さが太くならねばなりません。特に10m 以上の場合はそうです。

5.0 メンテナンス

ご購入いただいたXtract-R は、適切なメンテナンスを施せば、何年も安定した機能を提供します。メンテナンスで実際に必要とされる事柄は多くありませんが重要です。

毎日の作業終了後、埃、油分その他を湿った布で拭き落とし、きれいにしてからしまってください。もし装置がとくに汚れている場合は、普通の家庭用洗剤かイソプロピルアルコールを使ってください。どんな場合でも、液が装置に入らないよう注意を払ってください。ガソリンその他の溶剤は、Xtract-R のプラスチック製筐体を損傷し、また危険ですから使用を避けてください。

吸入ポートと排出ポートは運搬や保管の際に必ず保護してください。内径と外側のネジ山が汚れたりつまったりしないようにしてください。フィルターを吸入ポートに必ずつないでおき定期的に取り替えるのが良い方法です。

ホースも時間が経つにつれて漏れを生じたり汚染物質が溜まったりするので定期的に取り替えてください。シーズンごとに少なくとも一度取り替えてください。

季節の終りにXtract-R をしまう場合や長期間しまっておく場合は、窒素のような不活性ガスで装置をパージしてください。

性能が低下した場合、コンプレッサーのシールを取り替える必要があります。これは使用にともなう自然なことで、回収作業が行われる状態によりますが、1～2年、あるいはもっと早く起きる可能性があります。適切なメンテナンスキットの選択に関しては、販売会社にご相談ください。

6.0 トラブルシューティング

表 6-1. 「症状 - 原因 - 対策」表

症状	原因	対策
装置が作動しない。ファンが回らない、コンプレッサーがスタートしない、電源スイッチが点灯しない、など。	1. 電気のコードがつかっていない。	1. 電気コードをつなぐ。
	2. コンセントに電圧が感じられない。	2. 作業現場の電圧を確認する。
冷却ファンは作動するがコンプレッサーがスタートしない。	1. ブレーカーが切れている。	1. ブレーカーが作動した原因を探して直し、再設定する。
	2. 排圧が高すぎる。	2. 圧力を下げV2を回して一度パージにしてから回収に戻す。
	3. HP スイッチが開いている。	3. 圧力を下げる。
	4. モーター、ブリッジ整流器、またはフィルター・コンデンサーに電気が通じない。	4. 製造元で修理が必要。
コンプレッサーは作動するが冷却ファンがスタートしない。	1. ファンのモーターにある感熱ヒューズが開いている。	1. ファンのモーターを取り替える。製造元での作業が必要。
コンプレッサーはスタートするが2～3分で切れてしまう。HPゲージの圧力は高い。	1. V2 がパージの位置にあり HP スイッチが作動している。	1. V2 を回して「回収」の位置にする。
	2. V3 が開いていないとき、HP スイッチが作動する。	2. V3 を回して「開」の位置にする。
	3. 回収ポンベのバルブが開いていない。	3. ポンベのバルブを開く。
	4. 排出ホースが流れない。	4. ホースを調べつまりを取り除く。
	5. システム／ポンベ内に空気が入っている。	5. システム／ポンベから空気を抜く。
コンプレッサーが途中で止まる。	1. ポンベ内の冷媒の蒸気圧が HP のトリップポイントに近い。	1. ポンベの温度を下げる。

表 6-1. 「症状 - 原因 - 対策」表(続き)

症状	原因	対策
装置が過熱する。	ヘッド圧が過剰で、その理由は：	
	1. 環境温度が高い。	1. ボンベの温度を下げる。
	2. 排出ホースの流れが悪い。	2. ホースを調べ、つまりを取り除く。
	3. 回収ボンベ内に空気が入っている。	3. ボンベから空気を抜く。
回収プロセスが遅すぎる。	1. ヘッド圧が高すぎる。	1. ボンベの温度を下げる かボンベを取り替える。
	2. システムの冷媒が氷っている。	2. ゲージ・マニホールド・バルブとV3を絞めてLPゲージととHPゲージとの圧力差を少なくする。
		2. プロセスを一時停止して氷を溶かす。
	3. コンプレッサーのシールが悪くなっている。	3. サービスキットでコンプレッサーを組み立て直す（販売会社にご相談ください）。

7.0 サービス構造と配線図

7.1 サービス

Xtract-R は、UL、MITI、CSA、TUV 認定の電気部品あるいはこの製品用に特別に設計された部品のみを使用しています。



警告

これらの部品を変更してはいけません。機械の安全が損なわれる可能性があります。安全性と製品保証を保つためには、製品保証に関わる全ての整備作業がインフィコン認定の施設で行われねばなりません。

技術的な助言やサービス上の情報は、回収機をご購入いただいた会社にご連絡して入手してください。

注意： 故障した装置を直接製造元に返送しないでください。販売会社にご相談ください。

Xtract-R の以下の部品と付属器具は、Xtract-R をご購入になったディーラーでお求めいただけます。

部品と付属器具	
Xtract-R EMRT-1	部品番号
ストラップ、ショルダー、保持能力15kg、幅 50mm、長さ 1600、調整可、回転クリップ付	QD52550
取扱説明書、Xtract-R INFICON（和文）	074-337-P4
キャップとストラップ、導線付 プラスチック、7/16.20 1/4m SAE 適合	QC20015
ハンドル、アルミチューブ	QD52553
コンデンサー(2 列、178mm x 203mm、9.5mm チューブ、1/4 チューブ端、1/4 インチ fl ナット)	QD52528
コードセット(110V 15A)	QC20004
マニホルドアセンブリー（含圧カススイッチ）	QA21002
マニホルド ノブ・セット(3)	QS22014
マニホルドサービスキット	QS22020
ゲージ・高圧 INFICON (1/8 NPT 凸フィッティング) 55 bar	QD52523
ゲージ・低圧 INFICON (1/8 NPT 凸フィッティング) 35 bar	QD52522
ケース・ハウジング、ファン取り付け台	QD52535
ケース・ハウジング、コンデンサー取り付け台	QD52536
脚、ゴム補強（内径4mm、外径 22 x 高さ 8、HH757 x 20）	QC20025
過剰充填防止装置 (OPFD)	QA21006

7.2 構造

Xtract-R は最高級品質の素材から精密な基準に従って作られています。全ての組み立てと試験はISO-9001登録施設で行われています。

この装置は環境に適合した部品でできており、製品寿命が尽きた段階で、大部分がリサイクル可能です。適切なリサイクル方法に関しては地域の関係組織にお問い合わせください。

Xtract-R には危険な材料は使われていません。

7.3 電気配線図

以下の表は予備電気部品のリストです。配線図は、7-22 ページの図 7-1 にあります。

電気部品 - 予備部品リスト			
部品	説明	部品 No.	数量
M1	コンプレッサー、500CAR75 100V 60HZ	QC2000 0	1
M2	ファン用モーター（一体品）	QA2100 1	1
C1	キャパシター、200V 470 mfd	QC2000 2	1
D1	調整器、シリコンブリッジ・タイプ 25A、600V	QC2000 1	1
S1	スイッチ、ロッカーライト付、20A 125/220V SPST グリーン	QC2005	1
S2	HP 圧カスイッチ、C0450C1358	QC2001 1	1
CON1	IEC ソケット、凸フィルター、15A、125V	QC2000 6	1
CON2	プラグ収納器 600V、20A とワイヤ 16 AWG、 26/30 105°C、100V	QD5255 6	1
F1	ブレーカー、7A、125/250V	QC2000 3	1

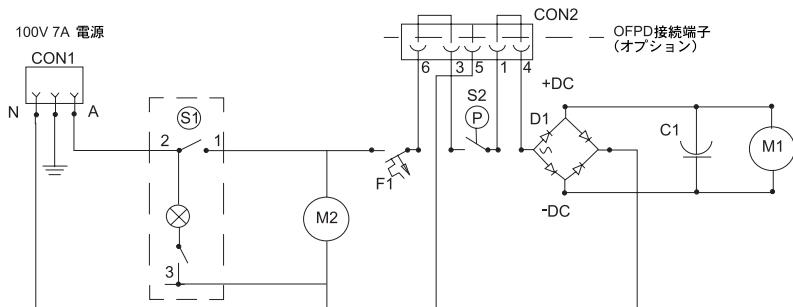


図 7-1 電気系統図



TWO TECHNOLOGY PLACE
EAST SYRACUSE, NY 13057-9714 USA

Phone: +315.434.1100
Fax: +315.437.3803
Email: reachus@inficon.com
www.inficon.com

074-337-P4